

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 二本松城跡周辺地区

令和6年3月

福島県二本松市

様式2-1 評価結果のまとめ

|       |              |          |       |         |            |     |       |    |         |
|-------|--------------|----------|-------|---------|------------|-----|-------|----|---------|
| 都道府県名 | 福島県          | 市町村名     | 二本松市  | 地区名     | 二本松城跡周辺地区  |     |       | 面積 | 106.5ha |
| 交付期間  | 平成30年度～令和4年度 | 事後評価実施時期 | 令和5年度 | 交付対象事業費 | 2,126.5百万円 | 国費率 | 42.9% |    |         |

| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 |      | 事業名  |                              |                     |  |                           |                                 |  |  |
|-----------|------------------|------|--|------------------------------|---------------------|--|---------------------------|---------------------------------|--|--|
|           | 基幹事業             |      | 道路（1路線）／公園（1公園）／地域生活基盤施設（多目的広場、駐車場、観光案内板）／高質空間形成施設（舗装改良、フットライト）／高次都市施設（観光交流センター） |                              |                     |  |                           |                                 |  |  |
|           | 提案事業             |      | 地域創造支援事業（VRソフト）／事業活用調査（事後評価調査）   |                              |                     |  |                           |                                 |  |  |
|           |                  |      | 事業名  | 削除/追加の理由                     |                     |  | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響    |                                 |  |  |
|           | 当初計画から削除した事業     |      | 基幹事業   | デジタルサイネージ                    | 予算及び維持管理費等の確保が困難のため |  |                           | 板面式の案内板や、関連事業で案内標識等を整備したため、影響なし |  |  |
|           |                  |      | 提案事業   | コミュニティバス社会実験                 | 費用対効果が期待できなかったため    |  |                           | 特に影響なし                          |  |  |
| 新たに追加した事業 |                  | 基幹事業 | 市道久保丁城山線道路改良   | 観光バスの乗り入れスペースの確保及び交通環境の向上のため |                     |  | 歩車道の一部拡幅・付け替えが主であるため、影響なし |                                 |  |  |
|           |                  | 提案事業 | -  | -                            |                     |  | -                         |                                 |  |  |
| 交付期間の変更   |                  | 当初   | -  | 交付期間の変更による事業、                |                     |  | -                         |                                 |  |  |
|           |                  | 変更   | -  | 指標、数値目標への影響                  |                     |  | -                         |                                 |  |  |

| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標             |      | 従前値     |      | 目標値     |     | 数値 |         | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見)   | フォローアップ予定時期 |
|--------------------------------|----------------|------|---------|------|---------|-----|----|---------|-------|------------|--|-------------|
|                                | 単位             | 基準年度 | 基準年度    | 目標年度 | モニタリング  | 評価値 |    |         |       |            |  |             |
| 指標1                            | 霞ヶ城公園入込客数      | 人/年  | 434,721 | H27  | 525,000 | R4  | -  | 349,808 | △     | あり         | 新型コロナウイルス感染症の蔓延による甚大な影響を受け、目標値を達成できなかった。<br>ただし、にはんまつ城報館（事業名：観光交流センター）やその周辺施設共用後となる令和4年度に入込客数はV字回復を見せており、今後、さらに増加することが予想される。   | なし          |
| 指標2                            | 観光資源の認知度       | %    | 22.2    | H28  | 32.2    | R4  | -  | -       | -     | あり         | ※欠測  | なし          |
| 指標3                            | 二本松城跡周辺の平均滞在時間 | 分    | 51      | H29  | 80      | R4  | -  | 82      | ○     | あり         | にはんまつ城報館（事業名：観光交流センター）や多目的広場等の一体的な整備や主要道路の舗装美化整備等により来訪者の回遊性が向上し、平均滞在時間が30分以上増加した。（なお、他事業の整備の進捗状況の兼ね合いで、やむを得ず調査時期を春から秋にずらしている。） | なし          |
|                                |                |      |         |      |         |     |    |         |       | なし         | にはんまつ城報館は歴史文化及び観光情報を紹介する観光施設としての機能だけでなく市民活動の場としても活用されており、観光客との交流や観光以外の賑わいの創出にも寄与している。  |             |

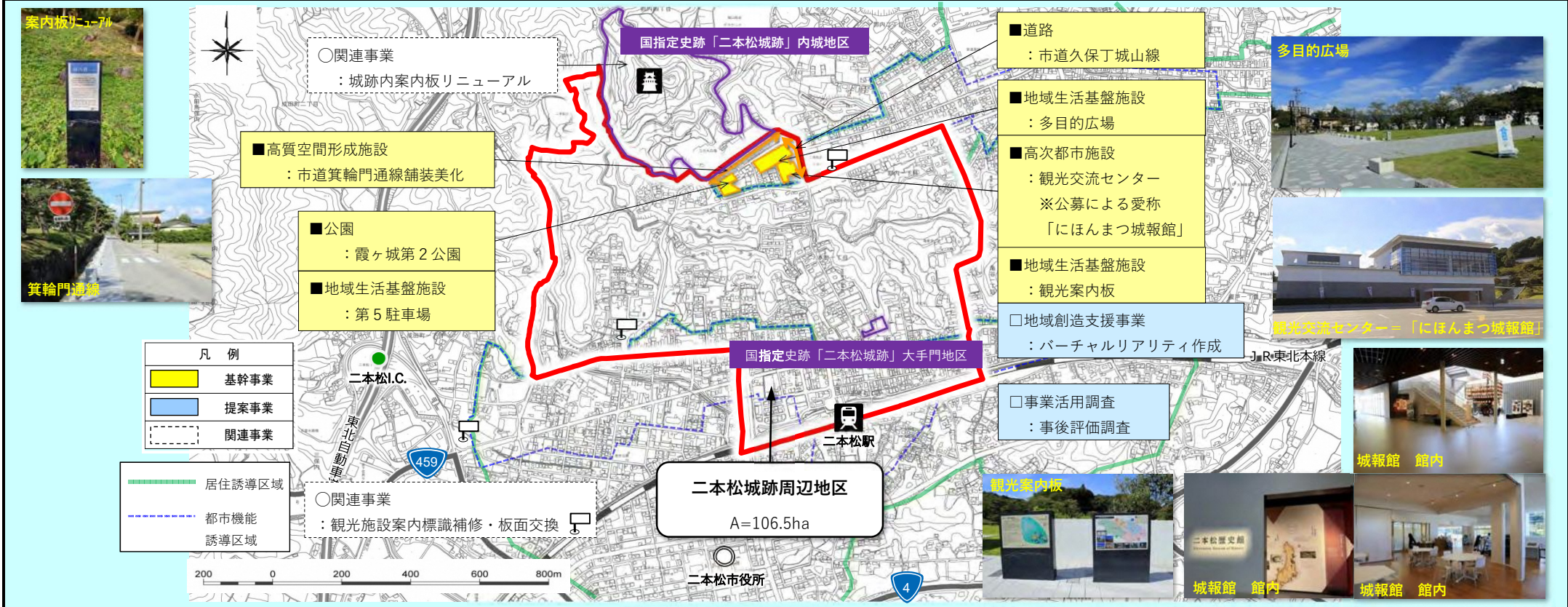
様式2-1 評価結果のまとめ

|  | 指標  |                                     | 従前値                 |   | 目標値   |        | 数値  |    | 目標達成度※1  | 1年以内の達成見込み  | 効果発現要因<br>(総合所見)   | フォローアップ<br>予定時期 |
|--|---|-------------------------------------|---------------------|---|---|--------|-----|----|----------|---|--|-----------------|
|  |   | 単位                                  | 基準年度                |   | 目標年度  | モニタリング | 評価値 |    |          |   |  |                 |
| 3)その他の数値指標<br>(当初設定した数値<br>目標以外の指標)に<br>よる効果発現状況 | その他の<br>数値指標1   | 霞ヶ城公園利用申請<br>件数                     | 件/年                 | 15  | H29   | /      | -   | 29 | /        | /   | にほんまつ城報館・連絡通路・多目的広場等を一体的に整備したことで、にほんまつ城報館での情報発信強化や催し物の開催等により、隣接する霞ヶ城公園および周辺の利用申請件数が増加した。<br>テレビ等のメディアの利用件数も増加しており、広範囲への知名度や認知度の向上にも寄与している。             | なし              |
|  | その他の<br>数値指標2   | 「霞ヶ城」の、「歴史・文化」カテゴリにおける入込客数の<br>県内順位 | 位                   | 8   | H29   | /      | -   | 6  | /        | /   | 二本松城跡周辺の観光・交通機能の強化及び情報発信機能を強化（にほんまつ城報館のHPの開設含む）したことにより、城跡を擁する観光地としての魅力や受け入れ能力が向上し、当地区と繋がる「霞ヶ城」公園の、「歴史・文化施設」カテゴリにおける観光入込客数の県内順位が上昇した。（長年8位だったものが6位に上昇。） | なし              |
|  | その他の<br>数値指標3   |                                     |                     |   |   |        |     |    |          |   |  |                 |
| 4)定性的な効果<br>発現状況                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業により当地区の景観が向上したことで、その周辺の建築物等の景観改善なども図られつつあるなど、周辺住民等の景観意識の向上に寄与している。</li> <li>・にほんまつDMOによる甲冑着付け体験や石垣マグネット、城カード、御城印などオリジナルグッズの作成・販売など、様々な観光メニューの展開に寄与している。</li> <li>・にほんまつ城報館で映像などにより歴史文化をわかりやすく紹介することで、市民の郷土の歴史への関心と理解を向上させ、その誇りの醸成に寄与している。</li> <li>・また、マルシェやワークショップなどがにほんまつ城報館を会場に実施され始めるなど、当地区が市民活動の新たな拠点としても活用されている。</li> <li>・にほんまつ城報館に「まちナビカード」を置くことで、市内周遊のきっかけづくり及び地域の活性化に寄与している。</li> <li>・城跡前周辺の道路を整備することで、来訪者及び地域住民の徒歩移動に係る安全確保に寄与している。</li> <li>・にほんまつ城報館の口コミは上々であり、歴史の体感の他、城跡散策後の休憩場所としても活用されるなど、来訪者の利便性の向上にも寄与している。</li> </ul> |                                     |                     |   |   |        |     |    |          |   |  |                 |
| 5)実施過程の評価  |   |                                     | 実施内容                |   |   | 実施状況   |     |    | 今後の対応方針等 |   |  |                 |
|  | モニタリング  | 庁議の開催                               |                     | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |        | ●   |    |          | 事業完了後も、適宜情報共有等を行う。  |  |                 |
|  |   | 庁内打合せ                               |                     | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |        | ●   |    |          | 事業完了後も、適宜情報共有等を行う。  |  |                 |
|  | 住民参加プロセス  | 市民ワークショップ                           |                     | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |        | ●   |    |          | 今後も住民の意見聴取の場を設けることを検討していく。  |  |                 |
|  |   | 二本松城総合整備事業説明会                       |                     | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |        | ●   |    |          | 今後も市の事業等に関する周知や情報提供の場・機会を設定する。  |  |                 |
|  |   |                                     | 広報紙やホームページでの事業内容等周知 |   | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |        |     | ●  |          |   | 今後も市の事業等に関する周知や情報提供、および運営等への意見聴取の場・機会を設定する。  |                 |
| 持続的なまちづくり体制<br>の構築状況                             |   | にほんまつDMOの発足                         |                     | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |        | ●   |    |          | 今後もDMOとの連携や情報共有を密に行い、観光地域づくりの活性化を図る。<br>また、官民連携の場としての戦略会議に、行政として積極的に参加する。 |  |                 |

## 様式2-2 地区の概要

### 二本松城跡周辺地区(福島県二本松市) 都市再生整備計画の成果概要

| まちづくりの目標  | 目標を定量化する指標        |     | 従前値     | 目標値 | 評価値        |            |
|---|-------------------|-----|---------|-----|------------|------------|
| 【大目標】 二本松の歴史・文化・魅力を伝える新たな交流拠点の整備と観光振興による地域の活性化<br>【小目標①】 観光交流拠点の整備による利便性と景観性の向上および賑わいの創出<br>【小目標②】 歴史文化の伝承と体験による認知度の向上と市民の誇りの醸成 | 霞ヶ城入込客数           | 人/年 | 434,721 | H27 | 525,000 R4 | 349,808 R4 |
|   | 観光資源の認知度          | %   | 22.2    | H28 | 32.2 R4    | - 欠測       |
|   | 二本松城跡周辺の平均滞在時間    | 分   | 51      | H29 | 80 R4      | 82 R5      |
|   | 霞ヶ城公園利用申請件数       | 件/年 | 15      | H29 |            | 29 R4      |
|   | 「霞ヶ城」入込客数の県内順位    | 位   | 8       | H29 |            | 6 R4       |
|   | ふるさと納税寄付金の用途別件数割合 | %   | 5.2     | H29 |            | 5.5 R4     |



|                     |  |
|---------------------|--|
| まちの課題の変化            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・にはんまつ城報館（二本松市歴史観光施設）や多目的広場等の整備により、観光誘客や地域の賑わい創出に貢献している。また、市の歴史・文化や魅力などの体験・体感が身近なものになり、市民の誇りの醸成にも寄与している。</li> <li>・各種事業により、交通の安全性や利便性が確保されたとともに、城跡前にふさわしい景観の向上やエリアとしての一体感の醸成が図られた。</li> <li>・バリアフリーや多様性に配慮した各施設整備としたことで、エリア内の回遊性の向上とともに、誰もが当市の魅力を知り・体感できるようになり、集客力や認知度が向上した。</li> </ul> |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、整備した施設や歴史観光資源の活用に主眼を置いた観光戦略を展開する。そのため、にはんまつ城報館を核として、各施設や団体との連携や情報発信機能をさらに強化し、祭りやイベントを含めた通年の観光産業の活性化を図る。また、整備効果が多角的に展開できるような仕掛けや仕組みづくりについて、引き続き検討、実施していく。</li> <li>・また、来訪者の移動の利便性を確保することや、当地区で創出された賑わいの効果を市内全域へ波及するため、交通事業者との連携の上、需要に基づいた適切な輸送機能の確保を目指す。</li> </ul>                 |

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

|               | 変更 |    | 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---------------|----|----|-----|-----|------|
|               | あり | なし |     |     |      |
| A. まちづくりの目標   |    | ●  |     |     |      |
| B. 目標を定量化する指標 |    | ●  |     |     |      |
| C. 目標値        |    | ●  |     |     |      |
| D. その他(区域面積)  |    | ●  |     |     |      |

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

| 基幹事業     |              |         |   |         |   |   |   |            |       |
|----------|--------------|---------|---|---------|---|---|---|------------|-------|
| 事業       | 事業箇所名        | 当初計画    |   | 最終変更計画  |   | 当初計画からの<br>変更の概要 ※1<br>(事業の削除・追加を含む)    | 都市再生整備計画に記載した<br>まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響                 | 事後評価時の完成状況 |       |
|          |              | 事業費     | 事業内容  | 事業費     | 事業内容  |   |   | 完成         | 完成見込み |
| 道路       | 市道久保丁城山線道路改良 | -       | -   | 107.6   | L=195m,<br>W=11.5m+2.3m<br>車道及び歩道の拡幅                                      | 観光バスの乗り入れスペース確保、周辺の交通環境の向上のため追加         | ・歩車道の一部拡幅であるため、指標や目標への影響は軽微                                   |            | ●     |
| 公園       | 霞ヶ城第2公園      | 17.9    | A=950㎡<br>植栽、張芝等  | 13.6    | A=481.61㎡<br>植栽、張芝等<br>菊栄会事務所移設   | 事務所移設を関連事業から基幹事業へ移行、事業内容精査による面積減のため事業費減 | ・関連事業からの移行のため、特に影響なし  |            | ●     |
| 地域生活基盤施設 | 多目的広場        | 147.2   | A=5,100㎡<br>舗装改良、インターロッキング舗装、植栽(生垣、低木)、                               | 123.7   | A=3,893.82㎡<br>路盤工、ブロック舗装、植栽(生垣、低木、芝)、給水施設等                               | 家屋移転に伴う計画地の拡張による面積変更<br>設計精査による付帯施設の変更  | ・影響なし   |            | ●     |
|          | 第5駐車場        | 11.2    | A=3,400㎡、<br>舗装改良等  | 5.9     | A=2,963.53㎡、<br>砕石舗装、側溝整備、植栽等   | 他事業との調整による事業費の減                         | ・影響なし   |            | ●     |
|          | 観光案内板        | 4.0     | N=4基、<br>矢羽式、板面式  | 0.9     | N=1基、<br>板面式  | 他事業との調整による数量と事業費の減                      | ・指標2(認知度)と指標3(滞在時間)に影響するが、関連事業等の案内板整備で補完できるため、影響なし            | ●          |       |
|          | デジタルサイネージ    | 4.0     | N=2基<br>デジタルサイネージ   | -       | -   | 維持管理費確保等の関係で事業とりやめ                      | ・指標2(認知度)と指標3(滞在時間)に影響するが、関連事業等の案内板整備や映像コンテンツ整備等で保管できるため、影響なし | -          |       |
| 高質空間形成施設 | 市道箕輪門通線舗装美化  | 33.0    | A=2,000㎡<br>舗装改良(脱色アスファルト舗装)、<br>フットライト整備(N=8基)等                      | 72.9    | A=2,095㎡<br>舗装改良(半たわみ舗装)、フットライト整備(N=50基)等                                 | ・事業内容の精査による数量や事業費などの増                   | ・影響なし   | ●          |       |
| 高次都市施設   | 観光交流センター     | 1,689.1 | 延床A=2,200㎡<br>駐車場A=3,900㎡<br>観光交流センター:<br>2階建、<br>駐車場:観光バス5台、一般車86台程度 | 1,779.7 | 延床A=1,749㎡<br>駐車場A=2,325㎡<br>観光交流センター:<br>平屋一部2階建、<br>駐車場:観光バス2台、一般車51台程度 | ・事業内容の精査、基礎地盤の補強のための変更と事業費増             | ・影響なし   | ●          |       |

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

| 事業              | 細項目                  | 当初計画 |                | 最終変更計画 |         | 当初計画からの<br>変更の概要 ※1<br>(事業の削除・追加を含む)   | 都市再生整備計画に記載した<br>まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 |       |
|-----------------|----------------------|------|----------------|--------|---------|--|---|------------|-------|
|                 |                      | 事業費  | 事業内容           | 事業費    | 事業内容    |  |   | 完成         | 完成見込み |
| 地域創造<br>支援事業    | バーチャルリアリティ（VR）<br>作成 | 22.0 | VRソフト作成        | 19.4   | VRソフト作成 | ・事業内容の精査による減   | ・影響なし   | ●          |       |
| 事業活用調査          | 事後評価調査               | 3.0  | 事後評価調査         | 2.8    | 事後評価調査  | ・事業内容の精査による減   | ・影響なし   |            | ●     |
| まちづくり<br>活動推進事業 | コミュニティバス社会実験         | 5.0  | シャトルバス社会実<br>験 | -      | -       | ・費用対効果の検証による事業とりや<br>め<br>・コロナ禍における利用客減少に伴い<br>適正な実証実験結果が得られないこと<br>が想定されたため | ・実証実験であるため、影響は軽微                              | -          |       |

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

| 事業              | 細項目 | 事業箇所名 | 事業費  |            | 事業期間  |                | 進捗状況及び所見 | 備考                      |
|-----------------|-----|-------|------|------------|-------|----------------|----------|-------------------------|
|                 |     |       | 当初計画 | 最終変更<br>計画 | 当初計画  | 最終変更計画         |          |                         |
| 二本松菊栄会事務所移設     |     |       | 3.0  | -          | -     | 令和4年度（R5年度へ繰越） | -        | 基幹事業（公園：霞ヶ<br>城第2公園）へ移行 |
| 城跡内案内板リニューアル    |     |       | -    | 6.6        | -     | 令和4年度          | 完了       |                         |
| 城跡内ベンチリニューアル    |     |       | 1.5  | -          | -     | -              | 取り止め     |                         |
| 城跡内園路リニューアル     |     |       | 2.2  | -          | -     | -              | 取り止め     |                         |
| 箕輪門展示スペース環境整備   |     |       | 5.0  | -          | -     | -              | 取り止め     |                         |
| 観光施設案内標識補修・板面交換 |     |       | -    | 0.9        | 令和4年度 | 令和4年度          | 完了       |                         |

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

| 指標  | 単位             | データの計測手法と評価値の求め方<br>(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)  | (参考)※1<br>計画以前の値<br>(ア) |          | 従前値<br>(イ) |          | 目標値<br>(ウ) |      | 数値(エ)  |        |         | 目標達成度※2 |    | 1年以内の<br>達成見込みの<br>有無 |  |
|-----|----------------|--|-------------------------|----------|------------|----------|------------|------|--------|--------|---------|---------|----|-----------------------|--|
|     |                |  | 基準<br>年度                | 基準<br>年度 | 基準<br>年度   | 目標<br>年度 | モニタリング     | 事後評価 | 見込み    | モニタリング | 事後評価    | 見込み     | あり | なし                    |  |
| 指標1 | 霞ヶ城公園入込客数      | 人/年<br>・「福島県観光客入込状況」から、霞ヶ城公園の入込客数を把握し、評価値とした。<br>・本指標に係る事業は完了していることから、評価値は確定値とする。  | 520,198                 | H21      | 434,721    | H27      | 525,000    | R4   | モニタリング | -      | -       | モニタリング  | -  |                       |  |
|     |                |  |                         |          |            |          |            |      | 事後評価   | 確定 ●   | 349,808 | 事後評価    | △  | ●                     |  |
| 指標2 | 観光資源の認知度       | %<br>・「二本松市観光戦略事業計画書 二本松DMO設立計画」P31より、福島県外居住者に対して実施した観光アンケート調査結果のうち、「二本松城」と「菊人形」の認知度の平均値を従前値とした。<br>・にほんまつDMOが令和4年3月に実施した「二本松市観光動態調査(アンケート調査)」において同様の設問が含まれなかったことから、本指標の評価値は欠測とし、その他の数値指標で補完評価することとした。 | -                       | -        | 22.2       | H28      | 32.2       | R4   | モニタリング | -      | -       | モニタリング  | -  |                       |  |
|     |                |  |                         |          |            |          |            |      | 事後評価   | 確定 -   | -       | 事後評価    | -  | ●                     |  |
| 指標3 | 二本松城跡周辺の平均滞在時間 | 分<br>・二本松城跡の来訪者にGPS記録装置を手渡しし、散策・回遊後に回収する。手渡しから回収までの時間を記録から把握し、評価値とした。<br>・本指標に大きく関連する事業は完了していることから、評価値は確定値とする。   | -                       | -        | 51         | H29      | 80         | R4   | モニタリング | -      | -       | モニタリング  | -  |                       |  |
|     |                |  |                         |          |            |          |            |      | 事後評価   | 確定 ●   | 82      | 事後評価    | ○  |                       |  |

| 指標  | 目標達成度○△×の理由<br>(達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)                   | その他特記事項<br>(指標計測上の問題点、課題等)              |
|-----|---|---|
| 指標1 | コロナ禍の甚大な影響により目標値には達しなかったが、事業の効果もあって近年回復傾向を見せているため、「△」とした。 |   |
| 指標2 | 計測不能であったため、その他の数値指標で補完評価を行った。                             | 計測主体である「にほんまつDMO」との密な連携が必要である。          |
| 指標3 | 目標値を上回ったため、「○」とした。  | 他事業の整備進捗との兼ね合いにより、やむを得ず従前値とは異なる時期に計測した。 |

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合



添付様式2-② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

| 指標            | データの計測手法と評価値の求め方<br>(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)   | (参考)※1<br>計画以前の値<br>(ア) |          | 従前値<br>(イ) |          | 数値(ウ) | 本指標を取り上げる理由 | その他特記事項<br>(指標計測上の問題点、課題等) |     |  |                       |
|---------------|---|-------------------------|----------|------------|----------|-------|-------------|----------------------------|-----|--|-----------------------|
|               |   | 基準<br>年度                | 基準<br>年度 | 基準<br>年度   | 基準<br>年度 |       |             |                            |     |  |                       |
| その他の<br>数値指標1 | 霞ヶ城公園利用申<br>請件数                             | 件<br>/<br>年             | -        | -          | 15       | H29   | モニタリング      | -                          | -   | 多目的広場やにほんまつ城報館および連絡通路などを整備したことにより、公園の利用申請件数が増加したことから、当地区内の利便性や賑わい向上を説明する指標として適切と考えられるため。 | 指標1：霞ヶ城公園入込客数を補完するもの。 |
|               |   |                         |          |            |          |       | 事後評価        | 確定 ●                       | 見込み |  |                       |
| その他の<br>数値指標2 | 「霞ヶ城」の、<br>「歴史・文化」カ<br>テゴリにおける入<br>込客数の県内順位 | 位                       | 8        | H19        | 8        | H29   | モニタリング      | -                          | -   | にほんまつ城報館の開館により情報発信機能や集客力が強化され、観光入込客数の県内順位が上がったことから、二本松市の観光資源の認知度の向上を説明する指標として適切と考えられるため。 | 指標2：観光資源の認知度を補完するもの。  |
|               |   |                         |          |            |          |       | 事後評価        | 確定 ●                       | 見込み |  |                       |
| その他の<br>数値指標3 |   |                         |          |            |          |       | モニタリング      |                            |     |  |                       |
|               |   |                         |          |            |          |       | 事後評価        |                            |     |  |                       |

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・各種事業により当地区の景観が向上したことで、その周辺の建築物等の景観改善なども図られつつあるなど、周辺住民等の景観意識の向上に寄与している。
- ・にほんまつDMOによる甲冑着付け体験や石垣マグネット、城カード、御城印などオリジナルグッズの作成・販売など、様々な観光メニューの展開に寄与している。
- ・にほんまつ城報館で映像などにより歴史文化をわかりやすく紹介することで、市民の郷土の歴史への関心と理解を向上させ、その誇りの醸成に寄与している。
- ・また、マルシェやワークショップなどがにほんまつ城報館を会場に実施され始めるなど、当地区が市民活動の新たな拠点としても活用されている。
- ・にほんまつ城報館に「まちナビカード」を置くことで、市内周遊のきっかけづくり及び地域の活性化に寄与している。
- ・城跡前周辺の道路を整備することで、来訪者及び地域住民の徒歩移動に係る安全確保に寄与している。
- ・にほんまつ城報館の口コミは上々であり、歴史の体感の他、城跡散策後の休憩場所としても活用されるなど、来訪者の利便性の向上にも寄与している。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容 | 実施状況          | 実施頻度・実施時期・実施結果   | 今後の対応方針等           |
|---------------------------------|---------------|--|--------------------|
| 庁議の開催                           | 予定どおり実施した     | ●<br>【実施頻度】5回（本事業に係る議題が含まれるもの）<br>【実施時期】H29～R3<br>【実施結果】各事業の方針や工事概要、条例制定等について付議し、庁内での情報共有を図った。                   | 事業完了後も、適宜情報共有等を行う。 |
|                                 | 予定はなかったが実施した  |  |                    |
|                                 | 予定したが実施できなかった |  |                    |
| 庁内打合せ                           | 予定どおり実施した     | ●<br>【実施頻度】2回<br>【実施時期】H30～H31<br>【実施結果】各事業の整備方針等を検討し、基本設計に係る課題と解決方針（案）をとりまとめた。（例：文化施設と観光施設の機能のすみ分け、多目的広場の位置づけ等） | 事業完了後も、適宜情報共有等を行う。 |
|                                 | 予定はなかったが実施した  |  |                    |
|                                 | 予定したが実施できなかった |  |                    |

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況(1/2)

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容 | 実施状況          | 実施頻度・実施時期・実施結果  | 今後の対応方針等                       |
|---------------------------------|---------------|---|--------------------------------|
| 市民ワークショップ                       | 予定どおり実施した     | ●<br>【実施頻度】3回<br>【実施時期】H30.2～H30.4<br>【実施結果】にほんまつ城報館整備に係るワークショップを開催し、本市の文化観光資源や、整備すべき機能等について検討を行った。<br>【計画に反映した主な意見】観光ギャラリーでの情報発信、二本松城や菊人形等の映像投影、物販機能は仮設で対応、多目的スペースへの電源や給水機能の整備、映像で見せる展示、フリーの休憩スペース、オープン(フレキシブル)な会議室、トイレの満足度向上(パウダールームの充実)、無電柱化 等 | 今後も住民の意見聴取の場を設けることを検討していく。     |
|                                 | 予定はなかったが実施した  |   |                                |
|                                 | 予定したが実施できなかった |   |                                |
| 二本松城総合整備事業説明会                   | 予定どおり実施した     | ●<br>【実施頻度】4回<br>【実施時期】H31.1、H31.2、R4.12、R5.8<br>【実施結果】当地区の町内会及び商工会議所観光振興委員会を対象に整備内容等について説明を行った。  | 今後も市の事業等に関する周知や情報提供の場・機会を設定する。 |
|                                 | 予定はなかったが実施した  |   |                                |
|                                 | 予定したが実施できなかった |   |                                |

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況(2/2)

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容  | 実施状況          | 実施頻度・実施時期・実施結果   | 今後の対応方針等   |
|--|---------------|--|--|
| <p>【都市再生整備計画に記載した整備方針】</p> <p>・都市再生整備計画や計画概要等を市の広報誌やホームページで公開し、市民からメール等で意見の聴取を行うこととする。</p> | 予定どおり実施した     | <p>【実施頻度】 広報への掲載：1回、ホームページでの紹介：10回</p> <p>【実施時期】 R2～R3</p> <p>【実施結果】 にほんまつ城報館の工事状況を市のホームページで公開し、市民への計画周知と事業への理解促進を図った。</p> | <p>今後も市の事業等に関する周知や情報提供、および運営等への意見聴取の場・機会を設定する。</p> |
|  | 予定はなかったが実施した  |  |  |
|  | 予定したが実施できなかった |  |  |

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容 | 構築状況          | 実施頻度・実施時期・実施結果  |   | 今後の対応方針等                               |
|---------------------------------|---------------|---|---|--|
|                                 |               | i. 体制構築に向けた取組内容   | ii. まちづくり組織名：組織の概要  |  |
| <p>にほんまつDMOの発足</p>              | 予定どおり実施した     | <p>● 官民・産業間・地域間との持続可能な連携体制の構築の中心的な組織として、観光地域づくりに係る各種事業を始めとして、市全体の観光戦略検討および構成団体の調整等を実施</p> | <p>組織名：（一社）にほんまつDMO</p> <p>概要：行政・観光等の各種団体の10団体からなる社員で構成</p> | <p>今後も連携や情報共有を密に行い、観光地域づくりの活性化を図る。</p> |
|                                 | 予定はなかったが実施した  |   |   |  |
|                                 | 予定したが実施できなかった |   |   |  |

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

| 名称等                        | 検討メンバー        | 実施時期   | 担当部署            |
|----------------------------|---------------|--------|-----------------|
| 庁内各課への事後評価シート原案<br>(素案)の照会 | 観光課・文化課等の関係各課 | 令和6年1月 | 都市計画課公園緑地係(主管課) |

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種別 |                            | 指標3           |  | その他の数値指標1   |   | その他の数値指標2      |   |           |      |
|-------|----------------------------|---------------|--|-------------|---|----------------|---|-----------|------|
| 指標名   |                            | 二本松城周辺の平均滞在時間 |  | 霞ヶ城公園利用申請件数 |   | 「霞ヶ城」入込客数の県内順位 |   |           |      |
| 種別    | 事業名・箇所名                    | 指標改善への貢献度     | 総合所見   | 指標改善への貢献度   | 総合所見  | 指標改善への貢献度      | 総合所見  | 指標改善への貢献度 | 総合所見 |
| 基幹事業  | 【道路】市道久保丁城山線道路改良           | ○             | にほんまつ城報館(事業名:観光交流センター)や多目的広場等の一体的な整備や主要道路の舗装美化整備等により来訪者の回遊性が向上し、平均滞在時間が30分以上増加した。(なお、他事業の整備の進捗状況の兼ね合いで、やむを得ず調査時期を春から秋にずらしている。) | ○           | にほんまつ城報館・連絡通路・多目的広場等を一体的に整備したこと、にほんまつ城報館での情報発信強化や催し物の開催等により、隣接する霞ヶ城公園および周辺の利用申請件数が増加した。 | ○              | 二本松城跡周辺の観光・交通機能の強化及び情報発信機能を強化(にほんまつ城報館のHPの開設含む)したことにより、城跡を擁する観光地としての魅力や受け入れ能力が向上し、当地区と繋がる |           |      |
|       | 【公園】霞ヶ城第2公園                | ○             |  |             |   |                |   |           |      |
|       | 【地域生活基盤施設】多目的広場            | ◎             |  |             |   |                |   |           |      |
|       | 【地域生活基盤施設】第5駐車場            | ○             |  |             |   |                |   |           |      |
|       | 【地域生活基盤施設】観光案内板            | ◎             |  |             |   |                |   |           |      |
|       | 【地域生活基盤施設】デジタルサイネージ        | △             |  |             |   |                |   |           |      |
|       | 【高質空間形成施設】市道箕輪門通線舗装美化      | ◎             |  |             |   |                |   |           |      |
|       | 【高次都市施設】観光交流センター           | ◎             |  |             |   |                |   |           |      |
| 提案事業  | 【地域創造支援事業】バーチャルリアリティ(VR)作成 | ◎             |  | ○           | テレビ等のメディアの利用件数も増加しており、広範囲への知名度や認知度の向上にも寄与している。  | ◎              | 「霞ヶ城」公園、「歴史・文化施設」カテゴリにおける観光入込客数の県内順位が上昇した。(長年8位だったものが6位に上昇。)                              |           |      |
|       | 【事業活用調査】事後評価調査             | -             |  | -           |   | -              |   |           |      |
|       | 【まちづくり活動推進事業】コミュニティバス社会実験  | △             |  | △           |   | △              |   |           |      |
|       | 城跡内案内板リニューアル               | ◎             |  | ○           |   | ○              |   |           |      |
|       | 城跡内ベンチリニューアル               | △             |  | -           |   | -              |   |           |      |
|       | 城跡内園路リニューアル                | △             |  | -           |   | -              |   |           |      |
|       | 箕輪門展示スペース環境整備              | △             |  | △           |   | △              |   |           |      |
|       | 観光施設案内標識補修・板面交換            | ○             |  | ○           |   | ○              |   |           |      |

※指標改善への貢献度  
 ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。  
 ○:事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。  
 △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。  
 -:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

|       |   |  |  |  |  |
|-------|---|--|--|--|--|
| 今後の活用 | にほんまつDMOなどとの連携により、各種観光機能の強化を図る。<br>また、来訪者の周遊エリアを街なかや市内の観光施設にも広げるような仕組みの構築を検討する。 | 整備効果が持続するよう、整備内容の周知を続けるとともに、にほんまつ城報館と多目的広場・駐車場の連携利用などを通じ、利用者数の増加や民間発意の催し物の開催などを促す。 | 庁内・民間等との連携体制のもと、整備した施設等の活用促進や情報発信を強化する。<br>今後も、歴史文化資源の魅力向上及び観光資源の磨き上げに資する方策等について、継続して検討する。 |  |  |
|-------|---|--|--|--|--|



#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

| 名称等                    | 検討メンバー        | 実施時期   | 担当部署            |
|------------------------|---------------|--------|-----------------|
| 庁内各課への事後評価シート原案（素案）の照会 | 観光課・文化課等の関係各課 | 令和6年1月 | 都市計画課公園緑地係（主管課） |

##### 添付様式5-② まちの課題の変化(1/2)

| 事業前の課題<br>都市再生整備計画に記載<br>したまちの課題                   | 達成されたこと(課題の改善状況)  | 残された未解決の課題  | 事業によって発生した<br>新たな課題  |
|--|---|---|--|
| 1. 二本松城跡の園路<br>や駐車場等の安全性の<br>確保と景観性の向上             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線道路の歩道整備および無電柱化等により、歩行者の安全性や大型バスの通行時の混雑解消が確保されたとともに、城跡前にふさわしい景観が創出された。</li> <li>・多目的広場の整備や駐車場の改良等により、城跡前の景観性が向上した。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道交差点西側のパブリックスペースが確保できておらず、一体的な安全性向上の効果発現に至っていない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・美観整備した道路を一方通行規制としたことにより、逆走車両が発生するようになった。（注意看板は設置済み）</li> </ul>   |
| 2. 観光情報発信機能<br>の整備と、市内の観光<br>施設や中心商店街への<br>送客機能の確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・にほんまつ城報館において市内全域の観光情報を発信するとともに、レンタサイクルや電動キックボードの貸出、まちナビカードの設置により、市内周遊する観光客が増加した。</li> <li>・関連事業でインターチェンジ周辺や主要道路の案内標識と霞ヶ城公園内の案内板を整備・更新したことにより、来訪者の目的地までの移動のしやすさと認知度の向上に貢献している。</li> <li>・にほんまつDMOがにほんまつ城報館内に事務局を構えたことにより、行政や観光事業者等との緊密な連携体制の土台が構築された。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最寄り駅からの交通アクセスが未だ不便のままであり、市内観光施設や商店街への送客機能も未確保のままとなっている。</li> <li>・市内の観光施設や中心市街地との連携とともに、各種イベント内容や歴史文化の体感手法等の充実や情報発信の強化が必要となっている。</li> <li>・観光案内板やVRは多言語化の対応が未完了となっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクルや電動キックボードの貸出における安全性の確保が必要となっている。</li> <li>・にほんまつ城報館について、市内の観光施設や文化施設との連携による観光機能の強化が必要となっている。</li> </ul> |

添付様式5-② まちの課題の変化(2/2)

| 事業前の課題<br>都市再生整備計画に記載<br>したまちの課題                | 達成されたこと(課題の改善状況)  | 残された未解決の課題  | 事業によって発生した<br>新たな課題   |
|---|---|---|---|
| 3. 祭りやイベントの<br>活性化に資するハード・ソフト支援                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備した多目的広場は物産フェアやマルシェなど各種イベント会場として利用され、地域の賑わい創出や観光誘客に貢献している。</li> <li>・各種事業により城跡前の景観が向上し、開催するイベントの多様化が期待できる。</li> <li>・城跡前の道路のフットライトが夜間の景観性や安全性の向上に寄与している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的広場は砂利敷きのため、利用者の利便性や景観性が不十分であり、舗装化を望む声が寄せられている。</li> <li>・祭りやイベントの活性化に資するハード・ソフト事業の充実が必要となっている。</li> <li>・フットライトの点灯は季節ごとの城内ライトアップ時期にのみ実施。通年点灯（夜間18時～21時まで）について検討中。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的広場とにほんまつ城報館との連携利用の促進が必要となっている。</li> <li>・公園やフットライトを通年点灯した場合の維持管理費確保が課題。</li> </ul> |
| 4. 歴史文化の体感等<br>による市民の誇りの醸成と、観光振興による<br>地域活性化    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「史跡二本松城跡」の麓ににほんまつ城報館を整備したことにより、市の歴史や文化、魅力などを体験・体感できる場所となり、市民の誇りの醸成に寄与している。</li> <li>・また、観光情報の発信やイベント開催により市民と観光客との交流が図られ、地域活性化や市内経済の活性化にも寄与している。</li> <li>・VRを整備したことにより、映像による登城体験が可能となった。また、歴史文化について臨場感や没入感のある映像表現により、魅力発信力が向上した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRは多言語には対応できておらず、映像コンテンツの充実が必要となっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像の劣化対応やリピーター対応が必要となっている。</li> </ul>  |
| 5. 障がいや年齢、多<br>国籍にも対応できる誘<br>客・移動手段の確保と<br>環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRの登城体験は、様々な理由で登城できない方でも、現地の雰囲気を楽しめるものとなっている。</li> <li>・にほんまつ城報館と多目的広場をつなぐ通路や階段を整備したことにより、エリア内の移動性の向上や、城跡周辺地区の一体感の醸成が図られた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内観光施設や商店街への送客機能が未確保のままとなっている。（再掲）</li> <li>・最寄り駅からの交通アクセスが未だ不便のままとなっている。（再掲）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像の劣化対応やリピーター対応が必要となっている。（再掲）</li> </ul>  |

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

|                           | 効果の持続を図る事項                  | 効果を持続させるための基本的な考え方   | 想定される事業  |
|---------------------------|-----------------------------|--|--|
| A欄<br>効果を持続させるため<br>に行う方策 | 地区内で創出・回復した賑わいを継続する         | <ul style="list-style-type: none"> <li>整備した施設や歴史観光資源の活用に主眼をおいた観光戦略を展開する。</li> <li>賑わいの効果が市内にも波及できるように、施設間の連携を強化する。</li> <li>にほんまつ城報館と霞ヶ城公園内看板の案内内容のリンク等、整備の相乗効果を図る仕組みを検討する。</li> <li>繰り返し来訪したくなるような仕掛けや仕組みを検討、強化する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスの社会実験</li> <li>路線バスのルート見直しを含む二次交通の再検討</li> <li>通年型を含めたイベントの継続実施</li> <li>まち歩きや観光マップの整備、充実</li> <li>公園内への情報看板等の追加設置</li> <li>企画展の充実</li> </ul> |
|                           | 二本松城跡周辺地区としてふさわしい景観をさらに向上する | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業により向上した景観をさらに守り、育てる仕組みを構築する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>景観形成重点地区の設定の検討</li> </ul>   |

|           | 改善する事項                           | 改善策の基本的な考え方   | 想定される事業  |
|-----------|----------------------------------|---|--|
| B欄<br>改善策 | イベント時等の地区内施設や駐車場利用の連携不足          | <ul style="list-style-type: none"> <li>回遊性や集客力の向上性を目指し、にほんまつ城報館や多目的広場でのイベント時に、第5駐車場の利用も促す。</li> <li>多目的広場の利便性や景観の向上のため、砂利敷から舗装への変更を検討する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント準備段階からの案内の強化</li> <li>第5駐車場への案内標識の設置</li> <li>多目的広場の舗装化の検討</li> </ul>                             |
|           | 雨天時等における、当地区と市内観光施設や商店街への送客機能の不足 | <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者の移動の利便性確保、および当地区で創出された賑わいの効果を市内にも波及するため、既存バス路線との連携や調整を図りながら、需要に基づいた適切な輸送機能を確保する。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスの社会実験（再掲）</li> <li>路線バスのルート見直しを含む二次交通の再検討（再掲）</li> </ul>                                      |
|           | 二本松市の魅力の発信不足                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>当地区を始めとして二本松の魅力の情報発信を強化する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>案内板や映像コンテンツの多言語化と適時更新</li> <li>ホームページやSNSなどでの情報発信の強化</li> </ul>                                       |
|           | 施設間や団体間の連携不足                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>にほんまつ城報館を核として各施設や団体との連携を強化し、祭りやイベント、観光産業の活性化を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内各団体や旅行代理店などの観光戦略におけるにほんまつ城報館の位置づけ・利活用の明確化</li> <li>DMO等との更なる連携強化</li> <li>当地区内外の施設との連携強化</li> </ul> |

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

|   |
|---|
| ● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。 |
| ● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。                  |
| ● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。   |
| ● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。  |
| ● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。              |

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・昨今の城ブームにより、県内の歴史文化資産を有する自治体との観光動線の連携が期待できる。



・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

| 指標        |                                 | 単位    | 従前値     |     | 目標値     |    | 評価値 |   |         | 目標達成度 | 1年以内の達成見込みの有無 |   | フォローアップ計画 |      |         |
|-----------|---------------------------------|-------|---------|-----|---------|----|-----|---|---------|-------|---------------|---|-----------|------|---------|
|           |                                 |       |         | 年度  |         | 年度 |     |   |         |       |               |   | 予定時期      | 計測方法 | その他特記事項 |
| 指標1       | 霞ヶ城公園入込客数                       | 人 / 年 | 434,721 | H27 | 525,000 | R4 | 確定  | ● | 349,808 | △     | あり            | ● | なし        |      |         |
|           |                                 |       |         |     |         |    | 見込み |   |         |       | なし            |   |           |      |         |
| 指標2       | 観光資源の認知度                        | %     | 22.2    | H28 | 32.2    | R4 | 確定  | △ | -       | -     | あり            | ● | なし        |      |         |
|           |                                 |       |         |     |         |    | 見込み |   |         |       | なし            |   |           |      |         |
| 指標3       | 二本松城跡周辺の平均滞在時間                  | 分     | 51.0    | H29 | 80.0    | R4 | 確定  | ● | 82.0    | ○     | あり            |   | なし        |      |         |
|           |                                 |       |         |     |         |    | 見込み |   |         |       | なし            |   |           |      |         |
| その他の数値指標1 | 霞ヶ城公園利用申請件数                     | 件/年   | 15      | H29 | /       |    | 確定  | ● | 29      | /     | /             |   | なし        |      |         |
|           |                                 |       |         |     |         |    | 見込み |   |         |       |               |   |           |      |         |
| その他の数値指標2 | 「霞ヶ城」の、「歴史・文化」カテゴリにおける入込客数の県内順位 | 位     | 8       | H29 | /       |    | 確定  | ● | 6       | /     | /             |   | なし        |      |         |
|           |                                 |       |         |     |         |    | 見込み |   |         |       |               |   |           |      |         |
|           |                                 |       |         |     | /       |    | 確定  |   |         | /     | /             |   |           |      |         |
|           |                                 |       |         |     |         |    | 見込み |   |         |       |               |   |           |      |         |

### 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

| 項目                       |            | 要因分析   | 次期計画や他地区への活かし方   |
|--------------------------|------------|--|--|
| 数値目標<br>・成果の達成           | うまくいった点    | ・市民の景観意識の向上など、定性的な効果も複数確認することができた。                                   | ・事前評価時点でアンケートや当該事業のための数量調査を実施し、指標の目標・成果達成が確実に検証できるよう努める。 |
|                          | うまくいかなかった点 | ・指標設定において、目標達成が確実に検証できる指標とするべく、事前評価時点で設定指標に直結するアンケートや数量調査等を実施できなかった。 |  |
| 数値目標と<br>目標・事業との<br>整合性等 | うまくいった点    | ・滞在時間をGPSにより計測したことで、事業実施による回遊ルートの変化や需要も追加把握もすることができた。                | ・今後はDXの技術等も活用し、来訪者や住民の需要の把握に努める。                         |
|                          | うまくいかなかった点 |  |  |
| 住民参加<br>・情報公開            | うまくいった点    | ・設計段階でのワークショップの開催により、市民の意見をハード面に反映できた。                               | ・事業の進捗等に合わせた適時開催と丁寧な説明に努める。                              |
|                          | うまくいかなかった点 | ・住民等への説明会のタイミングと回数等について、新型コロナウイルス感染症の蔓延などの影響があり住民要望に応えきれない面があった。     |  |
| PDCAによる事業<br>・評価の進め方     | うまくいった点    | ・観光入込客数は継続的に計測していることから、事業終了後も継続して事業効果を把握することができる。                    | ・今後もPDCAサイクルを継続推進していくため、庁内・関係機関等との連携を強化していく              |
|                          | うまくいかなかった点 | ・にほんまつDMOが実施するアンケート項目に、指標に係るものが含まれずに、当初設定した指標2の計測が出来なかった。            |  |
| その他                      | うまくいった点    |  |  |
|                          | うまくいかなかった点 |  |  |

### 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

現時点で予定なし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

| 公表方法         | 具体的方法        | 公表期間・公表日   | 意見受付期間     | 意見の受付方法                 | 担当部署                |
|--------------|--------------|------------|------------|-------------------------|---------------------|
| インターネット      | ・市ホームページへの公表 | 2月1日～2月16日 | 2月1日～2月16日 | ・メール、FAX、郵送の<br>いずれかの方法 | 都市計画課公園緑地係<br>(主管課) |
| 広報掲載・回覧・個別配布 |              |            |            |                         |                     |
| 説明会・ワークショップ  |              |            |            |                         |                     |
| その他          | ・都市計画課窓口での閲覧 | 2月1日～2月16日 | 2月1日～2月16日 |                         |                     |

|       |       |  |  |  |  |
|-------|-------|--|--|--|--|
| 住民の意見 | ・特になし |  |  |  |  |
|-------|-------|--|--|--|--|

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

| 委員構成      |  | 実施時期                                | 担当部署             | 委員会の設置根拠 | 委員会の母体組織         |
|-----------|--|-------------------------------------|------------------|----------|------------------|
| 学識経験のある委員 | 川崎興太（福島大学）、村上早紀子（福島大学）、市岡綾子（日本大学）            | 第1回：令和5年11月15日<br>委嘱状交付、事業概要説明、現地見学 | 二本松市建設部<br>都市計画課 | -        | 二本松市立地適正化計画検討委員会 |
| その他の委員    | 佐藤弘美（都市計画審議会委員）、渡辺誠一（二本松商工会議所）、服部政子（あだたら商工会） | 第2回：令和6年2月21日<br>評価の妥当性の審議と意見の具申    | 公園緑地係            |          |                  |

| 審議事項※1         |                           | 委員会の意見  |
|----------------|---------------------------|---|
| 事後評価手続き等にかかる審議 | 方法書                       | ※作成なし（委託業務で作成した工程計画に基づき事後評価を実施）   |
|                | 成果の評価                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>成果の評価について、適正であると確認された。</li> <li>その他の数値指標3（ふるさと納税の用途割合）については、削除も視野に設定の妥当性を再検証することを説明し、委員の了承を得た。</li> </ul>                                  |
|                | 実施過程の評価                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施過程の評価は適正であると確認された。</li> </ul>  |
|                | 効果発現要因の整理                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>効果発現要因の整理は適正であると確認された。</li> <li>指標3（滞在時間）の計測時期が従前値と異なった理由について追記することを説明し、委員の了承を得た。</li> </ul>   |
|                | 事後評価原案の公表の妥当性             | <ul style="list-style-type: none"> <li>事後評価原案は、住民に対して適切に公表したことが確認された。</li> </ul>  |
|                | その他                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>  |
|                | 事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事後評価の手続きは概ね妥当に進められたと確認された。</li> <li>ただし、その他の数値指標3の採否については事務局検討後に委員長一任で確認の上、各委員への資料配布と確認により、他の意見の反映とともに確認いただき、事後評価シートを完成することとした。</li> </ul> |

| 審議事項※1         |   | 委員会の意見   |
|----------------|---|--|
| 今後のまちづくりについて審議 | 今後のまちづくり方策の作成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後のまちづくり方策の作成は適正であると確認された。</li> </ul>   |
|                | フォローアップ   | ※本計画については事後評価の結果を持って国に確定報告することとし、フォローアップは行わない。   |
|                | その他   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>   |
|                | 今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認   | <ul style="list-style-type: none"> <li>事後評価の手続きは妥当であると確認された。</li> <li>ただし、委員からの意見を適宜反映後に委員長一任で確認の上、各委員への資料配布と確認を経て、事後評価シートを完成することとした。</li> </ul> |
| その他            | <ul style="list-style-type: none"> <li>評価委員会開催結果を事後評価シートに反映し、国に提出すること。</li> </ul> |  |

# 都市再生整備計画

にほんまつじょうあとしゅうへんちく  
二本松城跡周辺地区  
(精算報告)

福島県 にほんまつし  
二本松市

令和6年3月

| 事業名             | 確認                                  |
|-----------------|-------------------------------------|
| 都市構造再編集集中支援事業   | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 都市再生整備計画事業      | <input type="checkbox"/>            |
| まちなかウォークアブル推進事業 | <input type="checkbox"/>            |

## 目標及び計画期間

様式(1)-②

|       |                    |      |                    |     |                              |    |          |
|-------|--------------------|------|--------------------|-----|------------------------------|----|----------|
| 都道府県名 | 福島県                | 市町村名 | にほんまつし<br>二本松市     | 地区名 | にほんまつしよあしどうへんちく<br>二本松城跡周辺地区 | 面積 | 106.5 ha |
| 計画期間  | 平成 30 年度 ~ 令和 4 年度 | 交付期間 | 平成 30 年度 ~ 令和 4 年度 |     |                              |    |          |

### 目標

【大目標】二本松の歴史・文化・魅力を伝える新たな交流拠点の整備と観光振興による地域の活性化

[小目標①]観光交流拠点の整備による利便性と景観性の向上および賑わいの創出

[小目標②]歴史文化の伝承と体験による認知度の向上と市民の誇りの醸成

### 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)

現在の本市の中心市街地は、奥州二本松藩の城下町として栄えた街並みが原形となっており、観音丘陵を挟んだ二本松駅や二本松城跡の周辺を中心に商業・住居・公共施設等の都市機能が集積し、歴史・郷土文化等においても市の拠点となっていた。

しかし、近年は、これらの中心市街地の空洞化や商業・観光地の魅力の低減、六角川の氾濫による床下浸水対策が課題として挙げられていた。

そこで、市は、中心市街地の賑わいの創出・活性化と併せて地域コミュニティの維持・回復はもとより、観光客とのふれあえるまちを目指し、中心市街地の中で最も中心となる二本松駅北側周辺の整備として、市民交流センターや駅前広場などの公共施設の整備、六角川の治水工事などを進めてきた。

一方、二本松城跡周辺地区は、二本松駅から観音丘陵を越えなければならぬ場所に位置するため、二本松駅北側整備との連携が希薄となり、本市の中心市街地を構成する区域としての魅力の向上にはつながってきていない。

このようなことから、二本松城跡周辺地区は、本市のシンボルでもある二本松城跡の価値を高め、これによる観光客の誘客などによりにぎわいのある都市空間の創出と、城下町でもある良好な居住環境の整備を図り、また、二本松駅の周辺整備とあわせ、二本松駅周辺から二本松城跡周辺地区までのアクセス性の向上や案内誘導、さらには魅力の醸成を図り、本市の中心市街地であるこれらの地域において、既存する都市機能を有効活用するとともに、新たな集積による活性化とその周辺地区の更なる居住誘導を促進していく。

### まちづくりの経緯及び現況

①二本松市は、平成17年に1市3町が合併し、県都福島市と郡山市の間に位置し、市の中心から国道4号で福島市、郡山市へともに約30分程度の距離にある。

②本市は縄文時代から人の居住の続く、長い歴史をもった地域である。藩政時代には、奥州二本松藩十万七百石の城下町として栄え、二本松城(霞ヶ城)跡は国の史跡に指定(H19)されている。

③城下町として栄えた伝統的な雰囲気の中、『二本松の菊人形』『二本松の提灯祭り』『小浜の紋付祭り』『針道のあばれ山車』『木幡の幡祭り』など個性と趣のある祭りは、貴重な財産となっており、こうした歴史文化が今に受け継がれている。さらに、智恵子抄や能「黒塚」の舞台としても有名で、文化的な風土を醸し出している。

④本市においても人口は減少傾向にあり、少子高齢化も顕著となっている。また、小売業の大幅な店舗数の減少(H11:815事業所→H24:487事業所)や、旧奥州街道沿道に形成された中心商店街においても空き店舗の増加が続いている。

⑤本市の観光入込客数は東日本大震災後に増加傾向にあり、県内ではいわき市、福島市、郡山市、北塩原村に次ぐ入り込み客数を誇っている。ただし、城跡内で開催される「二本松の菊人形」の入込客数はピーク時の6割減の落ち込みを見せており、集客のための対策が急務となっている。

⑥「二本松城跡周辺地区」については、昭和61年に「霞ヶ城公園総合整備計画策定懇話会」を設置、平成2年に「二本松城址調査委員会」による多面的な調査を開始するなど、今後の霞ヶ城公園整備計画の基礎資料を蓄積してきた。その後、文化庁・県文化課の指導・助言のもと、平成9年に「二本松城址保存管理計画報告書」を作成した。平成16年に設置した委員会の指導に基づき年次計画で発掘調査や絵図面調査等を進め、平成19年7月26日に国史跡「二本松城跡(にほんまつじょうあと)」として指定を受けた(面積は約17ha)。二本松城跡は遺構の残存状況が良く、中世城館と近世城郭が同一箇所で見られ、これが最大の特色となっている。

⑦これらの各種調査・提言・計画による多くの資料の蓄積を重ね、これを市民に還元しながら「遺跡保存」と「公園活用」という2つの側面を矛盾なく推進することを目的として、平成23年に「二本松城跡整備基本計画」(二本松市教育委員会)が策定された。

⑧近年、観光による地域振興や地方創生に注目が集まっており、国は「観光立国」の推進を掲げている。本市でも観光客の増加・市街地への誘導や滞在を促す新たな核として平成27年度に「二本松城跡前整備基本構想」を策定し、検討を進めてきている。

⑨平成28年に策定された「二本松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地域全体の観光マネジメントを一本化する組織であるDMOの立ち上げが計画されており、日本版DMO候補法人登録申請に向けた検討が進められている。

### 課題

①二本松市のシンボルでもある国指定史跡「二本松城跡」(霞ヶ城公園)について、沿道や園路、駐車場等の利便性と安全性の確保、および景観性の向上を図る必要がある。

②現在不足している観光情報発信機能を整備するとともに、市内に点在する観光施設や中心商店街への送客機能を確保する必要がある。

③区域内を中心に開催される祭りやイベントを活性化させるため、ハード・ソフト両面での支援が必要である。

④本市の歴史と伝統文化を体験・体感させることにより、市民の誇りの醸成や、観光振興による地域の活性化を図る必要がある。

⑤増加する観光客やインバウンドへの対応のため、障がいの有無や年齢等だけでなく、国籍の違いにも対応できる誘客・移動手段の確保と環境整備が必要である。

### 将来ビジョン(中長期)

①「新二本松市総合計画(平成28年度策定)」において、「二本松城跡総合整備事業」として『城跡前に観光案内・歴史資料展示施設などの整備』が計画されている。

②「二本松市都市計画マスタープラン(平成21年度策定)」の基本方針において、「城下町としてのたたずまいや様々な伝統行事など、二本松市独自の文化や歴史的風情を感じさせるような要素を取り入れた景観整備を推進します」と設定されている。

③「二本松市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度策定)」において、「国指定史跡である二本松城跡(県立霞ヶ城公園)の周辺に観光拠点となる通年観光施設を整備し、観光案内や歴史資料の展示を行うことにより観光客の滞在時間の拡大を図るとともに、市内全域への誘客の波及を目指します。」と計画されている。

**都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。**

**都市機能配置の考え方**

- ・中心市街地は、本市で最も利用客が多い二本松駅を中心に、これと連絡する、周辺地域や観光地を結ぶバスターミナルといった公共交通の結節機能を有している。また、近年衰退の一途をたどっているが、古くから存続する商店街等を中心とした経済機能、市民交流センター、図書館、歴史資料館、公立高校等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、二本松のシンボルである二本松城跡の価値の向上と更なる利活用により、市民が愛着と誇りをもてる観光交流機能の充実を図る。
- ・既成市街地外縁部については、本市全体で見られる人口減少、高齢化の傾向が顕著な地域であるため、日常生活を支えるサービス機能、地域コミュニティの維持・増進機能の強化を図る。
- ・本市全体の生活利便性を牽引しつつ、注目すべき世代に選ばれるまちとするため、市民交流センターの子育て支援機能を活用し、病院・保育所・幼稚園・商業機能の維持・充実・誘導を図る。
- ・二本松城跡(霞ヶ城公園)から旧奥州街道における、保育所・幼稚園・小学校・病院の立地の強みを活かし、注目すべき世代をはじめ、市民が暮らしやすい二本松北部の子育て環境の維持充実を図る。

**都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方**

中心市街地にある市立歴史資料館は大型バスでの乗り入れができず、二本松市の歴史や文化等の紹介と、それを基に形成されてきた本市の魅力を多くの市民や観光客に発信する機能が十分に発揮できていない。二本松城跡に隣接する城跡前に、この機能の移転と更なる充実を図り、本物の二本松城をバックグラウンドとし、相乗的にこれらの価値の向上を図るとともに、本市における明確な観光拠点の創出と地域活性化を目指し、高次都市施設(観光交流センター)とその周辺整備を図ること、歴史的資源を活用した本市の魅力の向上に寄与する。  
また、これまで行ってきた二本松駅周辺整備との連携を強化することで、観光客の誘客とこれに寄る地域活性化の強化を図る。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

**目標を定量化する指標**

| 指 標            | 単 位 | 定 義                                | 目標と指標及び目標値の関連性                                | 従前値     | 基準年度 | 目標値                       | 目標年度 |
|----------------|-----|------------------------------------|---|---------|------|---------------------------|------|
|                |     |                                    |   |         |      |                           |      |
| 霞ヶ城入込客数        | 人/年 | 霞ヶ城公園の年間入込客数(福島県観光客入込状況)           | 観光振興と賑わいの創出を、霞ヶ城の年間入込客数で指標化する。【目標1、2に関連】      | 434,721 | H27  | 525,000<br>(ピーク時のH21と同水準) | R4   |
| 観光資源の認知度       | %   | 福島県外居住者の、「二本松城」と「菊人形」の認知度(アンケート調査) | 観光振興と認知度の向上を、観光施設・代表的な祭りの認知度で指標化する。【目標2、1に関連】 | 22.2    | H28  | 32.2<br>(10%向上)           | R4   |
| 二本松城跡周辺の平均滞在時間 | 分   | 二本松城跡への来訪者の平均滞在時間(実地計測)            | 観光振興と賑わいの創出を、来訪者の平均滞在時間で指標化する。【目標1、2に関連】      | 51      | H29  | 80<br>(30分増加)             | R4   |

| 計画区域の整備方針  | 方針に合致する主要な事業  |
|--|---|
| <p>【二本松城跡(霞ヶ城公園)の価値の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二本松城跡に誘導する主要道路であるとともに歴史的価値も高い沿道について、ふさわしい景観となるように舗装改良や照明整備等を行う。</li> <li>二本松城跡周辺の駐車場やスペースについて、出土した遺構等に配慮した上で、景観向上と有効利用が図れるような施設整備を行う。</li> <li>霞ヶ城公園内の既存施設や園路等のうち、景観にそぐわないものや耐震性・安全性の補強が必要なものについては、関連計画との整合性に配慮した上で、必要に応じ適切な整備を行う。</li> </ul>   | <p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①霞ヶ城第2公園(公園)</li> <li>②多目的広場(地域生活基盤施設)</li> <li>③第5駐車場(同上)</li> <li>④観光案内板(同上)</li> <li>⑤市道箕輪門通線舗装美化(高質空間形成施設)</li> <li>⑥市道久保丁城山線道路改良(道路)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①城跡内案内板リニューアル</li> <li>②観光施設案内標識補修・板面交換</li> </ul> |
| <p>【観光情報発信、市内拠点への送客、歴史文化展示と体験、イベント振興機能の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光情報の発信や市内に点在する観光資源・中心商店街への送客機能を確保する。</li> <li>地場産品の試食や直売施設により市内中心商店街への誘客を図るとともに、インバウンドの利便性と消費向上を目的とした免税会計機能を確保する。</li> <li>本物を展示することにより本市の歴史をリアルに体感できるほか、バーチャル・リアリティでも体験できる多角的な歴史展示施設(機能)を整備する。</li> <li>日常には広場・駐車場として活用し、伝統的な祭りやイベント時にはその魅力を十分展開できるような有効活用できる空間を整備する。</li> </ul>   | <p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①霞ヶ城第2公園(公園)</li> <li>②観光交流センター(高次都市施設)</li> <li>③多目的広場(地域生活基盤施設)</li> <li>④第5駐車場(同上)</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①バーチャルリアリティ作成(地域創造支援事業)</li> </ul>   |
| <p>【誘客や移動手段の確保による交通利便性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二本松駅前または市内各所からの案内を強化するために、分かりやすく、多言語にも対応した案内板等を整備する。</li> <li>城跡内の案内板の一部について、再整備が必要と判断されるものを関連計画との整合性に配慮した上でリニューアルする。</li> <li>城跡内の園路で、安全性に問題があり特に改修が必要な箇所を歩きやすいものに再整備するとともに、歴史的な園路の復元整備を行う。</li> </ul>  | <p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①多目的広場(地域生活基盤施設)</li> <li>②観光案内板(同上)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①城跡内案内板リニューアル</li> <li>②観光施設案内標識補修・板面交換</li> </ul>  |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交付期間中の計画の管理について(庁内調整、住民参加プロセス)             <ul style="list-style-type: none"> <li>交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、庁内部会を継続的に開催する。</li> <li>都市再生整備計画や計画概要等を市の広報誌やホームページで公開し、市民からメール等で意見の聴取を行うこととする。</li> </ul> </li> <li>○ 継続的なまちづくり活動(モニタリング・持続的なまちづくり体制)             <ul style="list-style-type: none"> <li>事業終了後も引き続き、将来ビジョンの達成に向け、中・長期の目標達成を目指し、継続した都市再生整備計画事業の活用も含め検討を行うものとする。</li> <li>なお、その検討にあたっては、引き続き庁内部会等を存続させていくこととする。</li> <li>商工会や観光協会、まちづくりNPO、二本松DMO等とも連携しながら、都市再生整備計画事業の効果を最大限に高めるようなまちづくり活動を展開していく。</li> </ul> </li> </ul> |   |

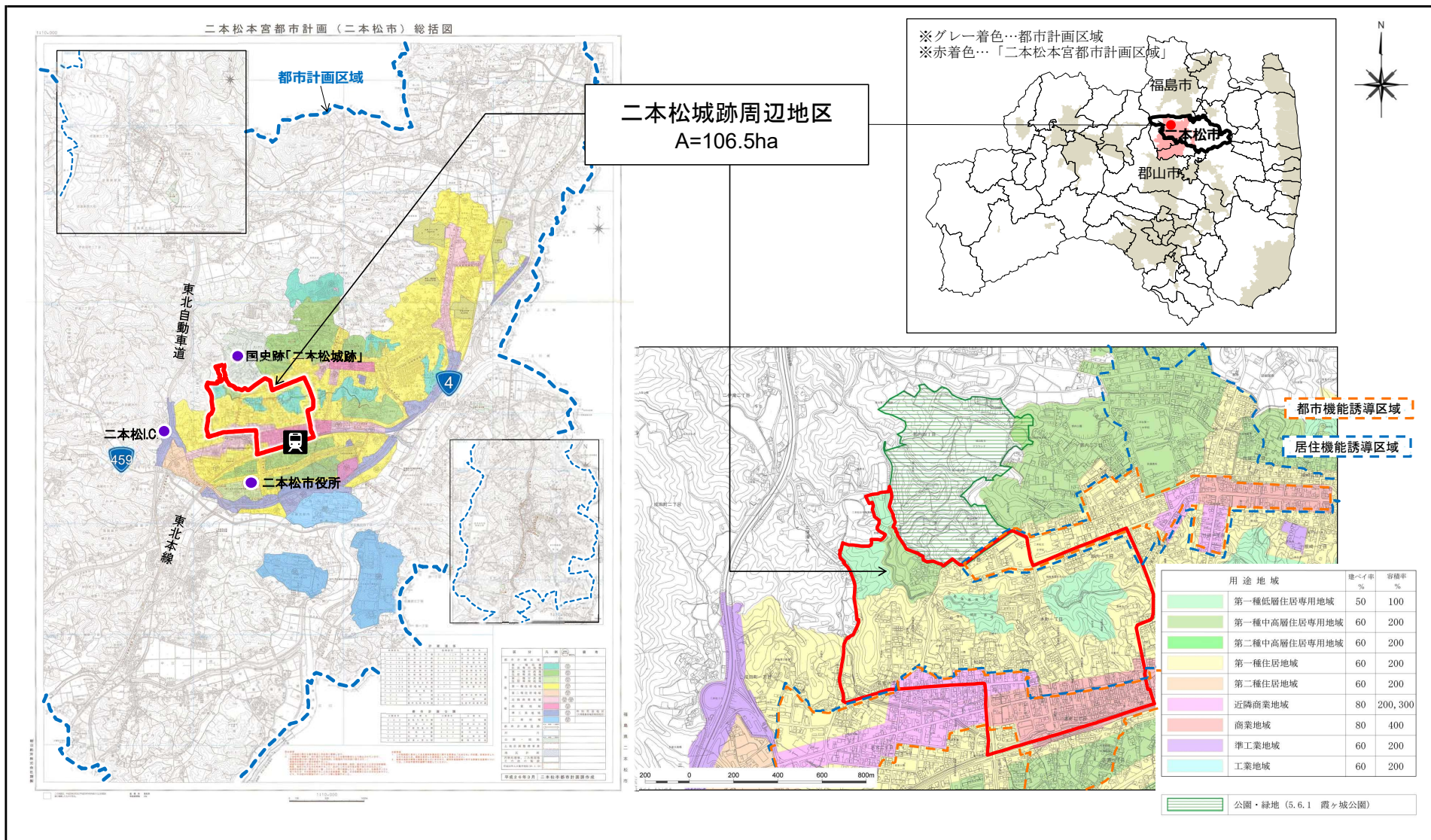




都市再生整備計画の区域

様式(1)-⑥

|                    |    |          |  |
|--------------------|----|----------|--|
| 二本松城跡周辺地区(福島県二本松市) | 面積 | 106.5 ha | 区域<br>【以下の全部】二本松市郭内4丁目、郭内3丁目、若宮1丁目、松岡<br>【以下の一部】二伊滝1丁目、本町1丁目、本町2丁目、亀谷一丁目、郭内1丁目 |
|--------------------|----|----------|--|



二本松城跡周辺地区(福島県二本松市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

|    |   |        |                 |         |           |   |         |           |
|----|---|--------|-----------------|---------|-----------|---|---------|-----------|
| 目標 | 【大目標】二本松の歴史・文化・魅力を伝える新たな交流拠点の整備と観光振興による地域の活性化 | 代表的な指標 | 霞ヶ城公園入込客数 (人/年) | 434,721 | ( H27年度 ) | → | 525,000 | ( R04年度 ) |
|    |   |        | 観光資源の認知度 ( % )  | 22.2    | ( H28年度 ) | → | 32.2    | ( R04年度 ) |
|    |   |        | 城跡周辺の平均滞在時間 (分) | 51      | ( H29年度 ) | → | 80      | ( R04年度 ) |

